

いずみ通信

IZUMI NEWSLETTER

2025年度 第4号 N086



名古屋市児童養護施設等就労支援事業
就労支援事業 サポートいずみ
名古屋市昭和区福江3丁目5番10号
自立援助ホーム慈泉寮内
TEL (052) 881-7583
FAX (052) 881-7746
E-mail support-izumi@syoutokukai.or.jp
<https://syoutokukai.or.jp/izumi/>
発行責任者 濱田 光男 編集者 村本 寛明

夢にときめけ！明日にきらめけ！ by ROOKIES 川藤監督 ～高校卒業と就職・進学を祝う会～

この春に高校を卒業する市内の社会的養護下で暮らす高校3年生の「高校卒業と就職・進学を祝う会」が、2月21日に駒方寮で開催されました。

この会は、毎月実施しているステップアップセミナーの締めくくりとしても行われます。今年度は18名の卒業生が祝う会に参加しました。

来賓からの祝辞

この会の開催にご支援いただいているビジネス交流会「金シャチBNIチャプター」様から来賓として6名の方にご出席いただき、代表して河村勉様よりお祝いの言葉を頂戴しました。「社会に出る上で大切なことは『運』を増やしていくことであり、そのためには感謝の気持ちを忘れないことが重要です。」と、これから新しい生活に踏み出すみんなに応援の言葉をいただきました。

また、「金シャチBNIチャプター」様から、アイスクリームやケーキの差し入れのほか、一人ひとりにお祝いの品としてQUOカードやハンカチをいただきました。



先輩からのお話

次に、施設を巣立ち、一人暮らしをしている先輩二人が、これからの生活の参考にってもらうために、あらかじめ参加児童から出された質問にこたえる形で、自らの体験を踏まえて話してくれました。

一人目は施設を退所後、大学に進学をして一人暮らしを始めた先輩です。入所中から一人で買い物などに行けず、いつも誰かと一緒に行動していたと言う彼女。退所後はしばらく毎日のように施設に連絡をしていたそうです。施設の職員が毎回向き合ってくれたおかげで自分は一人じゃないことを実感でき、安心して生活ができるようになったとのことでした。



二人目は、中卒後に自衛隊に入隊し、その後大学に進学。今年の春からは警察官になるという先輩が話をしてくれました。

“なぜ警察官になりたいと思ったのですか？”という質問に、「誇れる父親になりたいと思ったからです。」と胸を張って答えている姿がとても印象的でした。自分が苦労した分、金銭的な面でも自分の子どもには苦労させたくないという思いがあるとのこと、目標をしっかりと形にしている姿も非常にかっこよかったです。



卒業生の決意表明



その後高校3年生一人ひとりから、「進路について」「将来の夢について」の決意表明をしてもらいました。

子どもたち自身、大勢の前でマイクを持って話す機会は今まであまりなかったかと思います。それでも、みんなしっかりと話をすることができており、大学に進学する子も就職する子も不安はありつつも、みんな前向きな目標を持っていることが分かりました。



最後には一人ひとりにプレゼントが手渡されました。民間社会的養育施設長会からは、スタバカードや日用品、サポートいずみからは、印鑑やマックカードが贈られました。高校3年生の最後の思い出になる行事で、有意義なひとときになったと思います。



2025年度の活動を振り返って



昨年9月よりサポートいずみの職員として働き始め、気づけば半年が経ちました。不慣れなことも多く、皆様にはさまざまな場面でご協力をいただき、心より感謝しております。

名古屋市、民間社会的養育施設長会と協力して開催しているなごやかステップアップセミナーは、予定通り9回開催しました。普段、施設では見ることができない一面を見せてくれた子や、施設で見るままのポテンシャルをしっかりと発揮してくれる子まで多くの中高生が参加をしてくれました。



年間を通じて**職業体験事業**も活発に行いました。夏休み期間中には、中高生41名（延べ52名）が、15事業所で体験しました。この職業体験を通じて進路や将来の夢を決めた子もいるようで子どもたちにとって、とても良い機会になっていることを嬉しく感じています。

施設を巣立った後の新しい生活に役立つ学習のため、**生活の知恵本**の内容を今年度も改訂しました。毎年秋に改訂後、施設の高校卒業児童等に配布し、**出前勉強会**などで学習に役立てています。今年度もいくつかの児童養護施設を訪問しました。施設以外のライフラインの1つとして、サポートいずみが子どもたちの頭の中にふと浮かぶ存在になれたらと思っています。

この半年間の短い間ではありますが、本当に多くの方に支えていただきました。新しい出会いもたくさんあり、自分自身も勉強になることばかりでした。今後も子どもたちにとってよりよい支援ができるよう、一つひとつの出会いや経験、つながりを大切にしながら取り組んでいきたいと思っています。

寮完備の企業の方や、様々な職種において子ども達をご理解頂ける雇用主を募集しています。

